

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～29℃台を示し、やや低め～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり19トン水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり427kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり8.3トン水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり22kgの水揚げで前週の55%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マサバなどが1日1統当たり132kgの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり104kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり413kgの水揚げで、前週の4.1倍。（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（8/25～8/30の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～兵庫沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～桧山沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延5隻、総計31箱、1航海最高10箱、平均6.2箱。スルメイカ（20～25入）10箱、ケンサキイカ（2～3立半）21箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>